

昨年度収蔵の初展示資料を中心に

企画展示「高松藩を記録する～江戸時代のアーカイブズ～」 を開催し、幕末期の高松藩の記録資料を紹介します

香川県立文書館では、県の公文書に移管等により収集し、保存に努めるかたわら、県内各地に残る江戸時代の様々な記録も「江戸時代のアーカイブズ(公文書)」にとらえ、収集に努めています。

そうした中で昨年度収集した「徳田家文書」、その中の「廻文記」などと題された5点の資料は嘉永4年から明治5年までの約20年間にわたる日々の藩士への通達とそれにまつわる出来事などが記された、幕末の高松藩の記録です。

本展示では初展示となるこの5点の資料などから、幕末を中心に江戸時代の高松藩に関するアーカイブズを紹介します。これらの記録に触れ、当時の様子に思いをはせるきっかけとなれば幸いです。

1 開催日時 **6月17日(土)～9月3日(日) 9:00～17:00**

(休館日:毎週月曜日、祝日、7月18日(火曜日))

2 会場 **香川県立文書館**(高松市林町2217番地19) 1階展示室

3 観覧料 **無料**

4 展示内容 (資料数 54件(予定):裏面「6 おもな展示資料」参照)

- ① **徳田家と高松藩の記録**:高松藩の記録を残した徳田家について紹介。
- ② **幕末の高松藩の記録-「廻文留」を中心に**:廃藩置県により高松藩がなくなるまでを紹介。
- ③ **高松藩を記録する**:県内各地で作成された高松藩の記録を紹介。

5 関連行事

・アーカイブズ講座 「廻文記で読む幕末 高松藩主の大移動」

日 時:8月27日(日) 14:00～15:30 資料代:300円 定員:90人(先着順)

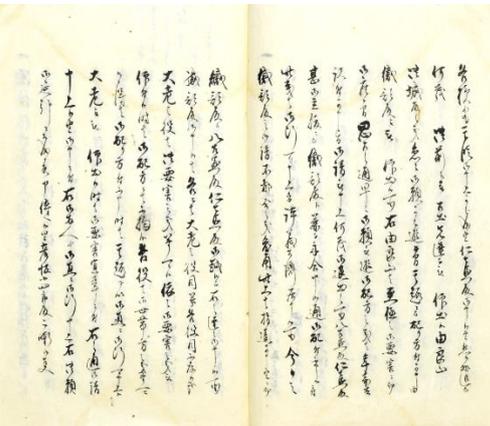
会 場:香川県立文書館 2階 視聴覚ホール

講 師:市原佳代子(香川県立文書館職員・認証アーキビスト)

・アーカイブズトーク:展示担当職員による、展示室での展示解説

日 時:7月26日(水)～8月30日(水)の毎水曜日 11:00～11:30 参加無料

6 おもな展示資料

	<p>(資料1)「高松藩御令條書拔 合九冊」 寛永16年(1639)から天保6年(1835)の期間に主に高松藩から出された法令などを藩主の治世ごとにまとめたもの。各巻の最後に「徳田宗邦写之」とあり、徳田達蔵(宗邦の通称)が藩の文書を写して編纂したものと考えられている。その編纂の意図は不明ながら、高松藩作成の法令集などが消失した現在において、貴重な江戸時代のアーカイブズである。</p>
	<p>(資料2)「廻文并ニ諸事扣など5点」 昨年度収蔵の初展示資料。江戸時代後期に高松藩士となった徳田家に残された5点の資料で、幕末～明治の約20年間の高松藩内の通達や法令などが継続的に記されている。本展示ではこれらの資料から様々なエピソードを抜き出すことで幕末期の高松藩の様子を紹介する。資料1同様に当時の藩政、藩士の管理、藩内の状況などを見ることのできる貴重なアーカイブズでもある。</p>
	<p>(資料3)「「廻文録 五」より廃城につき、御堀の亀を御林へ御放」 明治4年 明治以降の厳しい財政下で高松藩では高松城の廃城の許可を得た。資料は廃城で埋められるお堀の亀を栗林公園に移住させるための有志を募ったもので、展示ではほかに廃城の窺い、城内資材の払い下げの為の見学会の開催についての資料を紹介。実際には明治17年(1884)に天守閣が解体されたものの、城の中心部は現在も玉藻公園として人々の憩いの場となっている。</p>
	<p>(資料4)「古老物語」 天保年間ごろに書写により作成されたもので、後半部は香川県史でも紹介された高松藩の職制の説明である「穆公遺事」と同内容。前半部には高松藩内での出来事などが記されており、展示箇所は正保年間(1644～1648)、初代高松藩主の松平頼重が城を由良山へと移転することを検討した記事。藩の大老職について語るための逸話ともみえて城の移転検討の真偽は不明ながら、文書館一帯が高松城下となっていたかもしれない、そんなことを思わせてくれる興味深い記録。</p>

■お問い合わせ先

香川県立文書館

〒761-0301 高松市林町2217-19

TEL(087)868-7171 FAX(087)868-7198

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/bunshokan/bunshokan/>